

基本事業名	農業振興		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	農業者・市民			
基本事業コード	511-01			目的 (どうしたいのか)	地域の農業の活性化を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	1	都市農業		貸し農園利用者数	人	514	395	560
施策の方向	1	都市農業の振興						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	農業振興関連団体助成事業		事務事業コード	511-01-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	農業関連団体	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	農業従事者の方々が関連機関との連携を取り、農作物生産者の栽培技術、病害虫発生予防法など情報の共有を図ることにより、本市の農業生産の向上を目指す。	総合評価・ 今後の方向性	縮小・統合	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	各種団体へ助成を行うことにより、それぞれの団体が持っている目的へ向けての活動を促す。	妥当性	B	有効性 効率性
			H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性
			3,537	3,178	B
			単位:千円 (3,537)	(3,178)	実施

事務事業名	農産物品評会・即売会開催事業		事務事業コード	511-01-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市の農業特産物の販売、地域農業の振興・促進	総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	羽曳野市農研クラブ連絡協議会主催の農作物展示品評会、品評会終了後の出品物の農産物の即売会の開催	妥当性	B	有効性 効率性
			H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性
			3,039	2,539	B
			単位:千円 (3,039)	(2,539)	実施

事務事業名	貸農園事業		事務事業コード	511-01-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市民	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市民が農作業体験を行うことのできる場を提供する。	総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	施設整備及び管理を羽曳野市農研クラブ連絡協議会が行い、都市化が進む羽曳野市において、市民自らが農作物の栽培を行い、食の安全・安心への関心や農業に対する理解を深めてもらうことを目的に体験農園事業を展開している。	妥当性	B	有効性 効率性
			H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性
			2,707	2,158	B
			単位:千円 (2,707)	(2,158)	実施

事務事業名	大阪版認定農業者支援事業		事務事業コード	511-01-04	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内の農業の担い手で組織された農業者団体及び農協	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	大阪府の独自制度である大阪版認定農業者を推進するため、安定的な農産物供給を行う農業者等が行う機械や施設を整備するため。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	事業主体からの申請を審査し大阪府へ申請を行う。補助金の範囲は1/3以内で大阪府からの補助金を市から事業主体に交付する。	妥当性	A	有効性 効率性
			H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性
			1,212	1,559	B
			単位:千円 (756)	(759)	実施

基本事業名	農業生産環境の保全		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	農業者・農地			
基本事業コード	511-02			目的 (どうしたいのか)	就農しやすい環境の整備を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	1	都市農業						
施策の方向	1	都市農業の振興						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	有害鳥獣対策事業			事務事業コード	511-02-01		
	総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
	対象(誰を・何を)	有害鳥獣により生活環境を害される可能性のある羽曳野市民			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	農業経営者の安定した生産確保のため、イノシシ・ライグマ・カラス・ムクドリ等の有害鳥獣を捕獲すること			総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A 有効性 B 効率性 A
	手段(事業内容)	年間を通して、有害鳥獣捕獲許可を4名の猟友会会員に与えてイノシシの捕獲檻の管理、並びに止めさしをお願いしている。また夏季にはカラス・ムクドリ有害駆除を猟友会に委託し、銃猟による駆除を行っている。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額 4,630	R1年度(当初)予算額 4,010	R2年度実施の方向性 実施
				単位:千円	(4,630)	(4,010)		

2	事務事業名	ハウス等栽培助成事業			事務事業コード	511-02-02		
	総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課
	対象(誰を・何を)	ハウス栽培を行っている農業者			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	市内の農特産物のハウス栽培を促進し、効率的かつ安定的な農業経営体の育成及び支援を行うため			総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 B 有効性 B 効率性 B
	手段(事業内容)	農業経営体から出されるハウス栽培に用いた廃棄ビニールの処分料の一部を市が負担する。※1kgあたり13円の補助額			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額 4,086	R1年度(当初)予算額 3,728	R2年度実施の方向性 実施
				単位:千円	(4,086)	(3,728)		

基本事業名	農地利用の最適化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	農地			
基本事業コード	512-01			目的 (どうしたいのか)	農地の保全及び利用の最適化を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	1	都市農業						
施策の方向	2	農業生産基盤の強化						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	農業委員会運営事務事業		事務事業コード	512-01-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	法定受託事務	担当 R1
				農業委員会事務局	R2
				農業委員会事務局	農業委員会事務局
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	農業委員会・農業委員会委員	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	農地法等の法律に基づき与えられた業務を適切に遂行し、農地利用の最適化を推進するため、農業委員会業務の円滑な運営を図る	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	委員報酬の支払い、研修の実施、諸証明の発行等	妥当性	A	有効性
			効率的性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				15,272	15,580
			単位:千円	(13,513)	(14,046)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	農地法に基づく許可申請等審査事務事業		事務事業コード	512-01-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	法定受託事務	担当 R1
				農業委員会事務局	R2
				農業委員会事務局	農業委員会事務局
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	農地	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	農地法等に基づき、農地の売買や転用に係る許可・届出等の審査、受理を行い、保全されるべき農地の投機的売買や、合理的な理由の無い転用を防ぐ。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	農地法等に基づき、申請された案件について現場調査等を行い、許可等の可否について審議を行う。	妥当性	A	有効性
			効率的性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				9,084	9,151
			単位:千円	(9,084)	(9,151)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	農地台帳管理事務事業		事務事業コード	512-01-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	法定受託事務	担当 R1
				農業委員会事務局	R2
				農業委員会事務局	農業委員会事務局
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	農地情報	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	農地情報の適正な管理及び利用促進を図る。	総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	システム化された台帳により、住民基本台帳や固定資産税課税台帳とのデータの照合を行いつつ、農地法等に基づく申請や届出等により、農地や農業者の情報の補正、整備を行う。	妥当性	A	有効性
			効率的性	B	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				2,628	3,127
			単位:千円	(2,628)	(3,127)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	農地バトロール事業		事務事業コード	512-01-04	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	法定受託事務	担当 R1
				農業委員会事務局	R2
				農業委員会事務局	農業委員会事務局
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	遊休農地	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	遊休農地の発生を防止し、農地利用の最適化を図る。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	農業委員、農地利用最適化推進委員とともに農地バトロールを実施して、遊休農地の発生を防止するため、所有者に適切な管理を指導するとともに、中間管理機構による利用権の設定等に向けての相談を行う。	妥当性	A	有効性
			効率的性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				2,326	2,331
			単位:千円	(2,326)	(2,331)
				R2年度 実施の 方向性	実施

基本事業名	新規就農者支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	新規就農者・就農希望者				
基本事業コード	512-02			目的 (どうしたいのか)	農業の担い手不足を解消する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	1	都市農業				新規就農者数	人	4	7
施策の方向	2	農業生産基盤の強化							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	農業次世代人材投資事業			事務事業コード	512-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	新規就農者			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	新規就農者の就業意欲の喚起と就農後の定着を図ること			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間最大150万円を交付する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施	
				単位:千円	(3,401)	(2,656)						

基本事業名		農家への安定的な経営支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	農家						
基本事業コード	512-03				目的 (どうしたいのか)	需要に応じた農業経営の安定化を図る。						
第6次羽曳野市総合基本計画							総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち										
施策	1	都市農業										
施策の方向	2	農業生産基盤の強化										
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり										
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり										
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										

1	事務事業名	経営所得安定対策等推進事業			事務事業コード	512-03-01						
	総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課		
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内において水田を有する者、又、耕作している者			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	食料・農業・農村基本計画に基づき、食料自給率を向上させ、米の作り捨てを防止するために主食用米から高収益作物(野菜や果樹)や飼料用米等に転作(米、以外のものを水田で栽培すること)を推奨するもの。また、諸外国から影響の受けやすい作物(麦等)の収入減の緩和対策			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	実行組合(地域の農業者の集まり)を通じて、その年度の米の作付けの計画を提出させ販売目的で栽培している作物(米以外の作物)に対し地域の実情に応じて交付金が支払われる。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施		
				単位:千円	(3,658)	(3,248)	(2,069)	(2,149)				

基本事業名	農業用施設の整備・保全		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	農地・農業者				
基本事業コード	512-04			目的 (どうしたいのか)	農業生産基盤の整備を促進する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	1	都市農業							
施策の方向	2	農業生産基盤の強化							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名		土地改良事業		事務事業コード		512-04-01			
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		B 概ね順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2 産業振興課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内で農作物を栽培している農業従事者及び農業用施設管理者		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	農業の生産性向上や農業構造の改善		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	農用地や農業用水路、農道等の農業生産基盤の整備及び農村の保全を行う事業(国庫補助事業・府営事業・府補助事業・市単独事業)		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	B	B
				単位:千円	(17,634)	(10,258)			
				単位:千円	(16,834)	(10,258)			

事務事業名		農業用施設管理事務事業		事務事業コード		512-04-02			
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		B 概ね順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2 産業振興課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	農業用施設		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	農業用施設の適正な維持管理を図るため		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	長坂農道や古市排水機場等の市管理施設及びピーチパーク・パークはびきやま等の地元管理施設について適正な農業用施設の維持管理を行う事業(市単独事業(修繕等)・市単独補助事業)		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	B	B
				単位:千円	(10,513)	(12,582)			
				単位:千円	(10,513)	(12,582)			

事務事業名		水路等維持管理事業		事務事業コード		512-04-03			
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 R1	維持管理課	R2 維持管理課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	排水路		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	適正に排水路機能を維持する。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	①排水路等の清掃後の土・ゴミ・汚泥等の回収 ②排水路の清掃 ③排水路の修繕やトラブル(詰まりなど)対応		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	A	A
				単位:千円	(21,139)	(21,611)			
				単位:千円	(21,139)	(21,611)			

基本事業名	中小企業支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市内事業者・創業希望者				
基本事業コード	521-01			目的 (どうしたいのか)	経営の安定化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち		総事業所数	事業所	3706	3,638	3850	
施策	2	商工業・サービス業		創業支援事業による起業数(累計)	件	-	83	20	
施策の方向	1	経営基盤の強化							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	融資斡旋事務事業		事務事業コード	521-01-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	産業振興課	R2	産業振興課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内中小企業者		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	市内の中小企業者に対して事業資金を斡旋し、振興発展に資するとともに、経営の安定と体質の強化を図る。		総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	主な事業(大阪府融資制度に基づく)①小規模企業サポート資金(市町村連携型)…市独自の取組みとして、完済後に借入時に大阪信用保証協会に支払った保証料の1/2を補助する。②経営安定サポート資金		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 1,134	R1年度(当初)予算額 1,160	R2年度 実施の 方向性		A A A 実施	

2	事務事業名	創業支援事業		事務事業コード	521-01-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	産業振興課	R2	産業振興課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内で創業を目指す方		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	市内における創業の促進を図る(平成26年1月に施行された産業競争力強化法に基づく)。		総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	国より認定を受けた「創業支援事業計画」に基づき、羽曳野市商工会及び株式会社日本政策金融公庫と連携を図り、市内創業希望者を計画的・継続的に支援する。①総合相談窓口(市)②個別相談指導③創業講座(羽曳野市商工会及び㈱日本政策金融公庫)		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 3,401	R1年度(当初)予算額 3,415	R2年度 実施の 方向性		B A B 実施	

基本事業名	商工振興		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	商工会等			
基本事業コード	522-01			目的 (どうしたいのか)	地域に根ざした商工業の発展を促進する。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	2	商工業・サービス業						
施策の方向	2	魅力と賑わいのある商業の振興						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	商工会助成事業		事務事業コード	522-01-01		
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市商工会		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
		目的 (どうしたいのか)	市内商工業の総合的な改善発展を図るとともに、経営の近代化及び商工業環境の整備に資する。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
		手段 (事業内容)	羽曳野市商工会が行う商工業振興事業に対し、補助金の交付を行う。		妥当性	B	有効性 B 効率性 B
				総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 13,645 R1年度(当初)予算額 13,504	R2年度 実施の 方向性	
				単位:千円	(13,568) (13,427)	実施	

2	事務事業名	プレミアム付商品券事業		事務事業コード	522-01-02		
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1 産業振興課 R2 産業振興課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	住民税非課税世帯、子育て世帯及び市内の登録店舗		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
		目的 (どうしたいのか)	消費税・地方消費税の10%への引上げによる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えする。		総合評価・ 今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
		手段 (事業内容)	25,000円分の商品券を20,000円で販売。事業は株式会社みのりの里に委託して実施する。		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性
				単位:千円		完了見込	

基本事業名	商店街の活性化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	商店街等				
基本事業コード	522-02			目的 (どうしたいのか)	地域との一体的な活性化を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	2	商工業・サービス業							
施策の方向	2	魅力と賑わいのある商業の振興							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	地域商業振興補助事務事業			事務事業コード	522-02-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市内商店街、商店会など			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	市内の地域商業の振興を図るため、地域住民及び消費者が安全かつ快適に買物ができる環境を整備することにより「生活快適空間」を創出するとともに、その整備の充実により都市機能の向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	上記対象者が実施した事業(地域のふれあいの場創設事業、消費者の安全快適のための施設・設備設置事業、商店街の活性化・近代化事業)に対し、補助金を交付する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	A	
					単位:千円	(1,607)	(2,121)		B		
						(1,607)	(2,121)		A		

2	事務事業名	商店街街灯電気料金補助事務事業			事務事業コード	522-02-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市内商店街、商店会			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	市内の地域商業の振興を図るため、地域住民及び消費者が安全かつ快適に買物ができる環境を整備することにより「生活快適空間」を創出するとともに、その整備の充実により都市機能の向上を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	上記対象者が商店街等に設置した街路灯に係る電気料金に対し、補助金を交付する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	A	
					単位:千円	(2,295)	(2,621)		B		
						(2,295)	(2,621)		A		

基本事業名	地場産業の振興		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	特産品			
基本事業コード	523-01			目的 (どうしたいのか)	地域ブランド力の強化及び販路の拡大を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	2	商工業・サービス業						
施策の方向	3	地域産業の活性化						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	6次産業創設事業			事務事業コード	523-01-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	本市の地域特産物であるぶどう、いちじく及びびなにわ伝統野菜に登録されている碓井えんどう等の農産物		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	ブランド力の強化を図る。		総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段(事業内容)	6次産業化を想定した新商品の開発やプロモーション、農業体験プログラム等の開発を行う。		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				単位:千円		

事務事業名	収穫祭開催事業			事務事業コード	523-01-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市来訪者及び駒ヶ谷地域		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市の特産品であるぶどうなどの地場産品を通じて、地域産業の振興、PR及び地域の活性化を図るとともに、駒ヶ谷地区の豊かな自然環境を多くの人に発信し交流を育む。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	収穫祭実行委員会へ助成金の交付を行うとともに、実行委員会の事務局として、実行委員会の開催、事業実施内容の調整(軽トラ市などとの共同開催)などを行う。		総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				単位:千円	2,317	3,556
				(2,317)	(3,556)	R2年度実施の方向性 実施

基本事業名		安全な食肉の供給		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)		南食ミートセンター					
基本事業コード		523-02			目的 (どうしたいのか)		地場産業の育成と発展を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画												
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	2	商工業・サービス業										
施策の方向	3	地域産業の活性化										
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり										
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり										
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
事務事業名		と畜場管理運営事務事業			事務事業コード		523-02-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	環境衛生課	R2	環境衛生課
1 事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立南食ミートセンター			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	計画的な施設整備により衛生管理に努め、重要なタンパク源である良質な食肉を安全かつ安定的に供給する。			総合評価・ 今後の方向性		現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	地場産業の育成と発展を図るとともに、と畜場の健全な運営と今後の運営のあり方について協議を継続していく。			総事業費 (うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施	
				単位:千円		(68.873)	(64.874)	(64.874)				

基本事業名	地域資源を活用したイベントの開催		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び市外からの来訪者				
基本事業コード	531-01			目的 (どうしたいのか)	賑わいの創出による、地域の魅力の発信とさらなる誘客を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	3	観光振興・都市間交流		観光情報ポータルサイトアクセス数	件	-	60,930	150000	
施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	軽トラ市開催事業		事務事業コード	531-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	観光課	R2	観光課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民及び市外の消費者				R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	消費者、生産者、商工業者が一体となって参画・交流を深め、地域の賑わいを図る。				総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段(事業内容)	駒ヶ谷駅西側公園を中心に、新鮮な野菜や果物、自慢の品物を軽トラックの荷台などに載せて生産者等が対面販売を行う事業を定期的に開催する。				現状維持	A	B
		総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
		単位:千円		(9,873)	(7,428)			

事務事業名	七夕祭開催事業		事務事業コード	531-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	観光課	R2	観光課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	全ての羽曳野市民及び市外の消費者				R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	竹内街道沿道の活性化と魅力向上を図る。				総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段(事業内容)	古市駅東広場周辺において、地域特産品等を販売するブースやステージイベントを実施する。				現状維持	A	A
		総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
		単位:千円		(1,792)	(2,607)			

事務事業名	はびきの夕べ開催事業		事務事業コード	531-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	政策推進課	R2	政策推進課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民及び市外の消費者				R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	日本最古の官道「竹内街道」の風情あるたたずまいを保全・活用・継承していくため、広域的PR及び地活性化と魅力向上を図る。				総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段(事業内容)	駒ヶ谷駅西側公園及びその周辺において、竹内街道の自治体にある食文化等を通じて広くPRを行い、街道沿線自治体の代表的な特産品(食文化)や地域加工品や商品、ご当地グルメの出店及びステージイベントを実施する。				拡充・重点化	B	B
		総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性	実施	
		単位:千円		(5,273)	(4,603)			

事務事業名	道の駅しらとりの郷・羽曳野10周年記念事業		事務事業コード	531-01-04				
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1		R2	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	全ての羽曳野市民及び市外の消費者				R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	道の駅「しらとりの郷・羽曳野」の運営者の羽曳野市と2つの館運営者JA南大阪、商工会にて、開設10周年セレモニー、イベント等を実施し、更なる発展を目指す。				総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段(事業内容)	道の駅「しらとりの郷・羽曳野」の開設10周年を迎えるにあたり様々なイベントを実施。併せて、あじさい祭りとして約2週間、夜間にあじさいのライトアップを実施する。				□		
		総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性		
		単位:千円						

基本事業名	広域的な地域活性化		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域住民及び来訪者				
基本事業コード	531-02			目的 (どうしたいのか)	地域間の交流の活性化とともに広域的な誘客を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち							
施策	3	観光振興・都市間交流							
施策の方向	1	地域資源の活用と観光資源の創出							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	津やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会事務事業			事務事業コード	531-02-01							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	C	やや遅れている	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	観光課	R2	観光課	
	対象(誰を・何を)	南河内の9市町村の市民及び観光客					R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	南河内を中心とする大阪の観光魅力のPRを行うとともに、観光客の受け入れ体制の充実と観光客の誘致を促進する。					総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	南河内の9市町村、大阪府、公益財団法人大阪観光局、近畿日本鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社が協力して、「観光PRキャラバン(年5回)」「みなみかわら歴史ウォーク(年3回)」「HPの更新」など、観光宣伝及び観光客誘致に関する事業を順次実施する。					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性			
					単位:千円	(1,736)	(1,736)	(1,059)	B B A				

基本事業名	来訪者対応施設の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	観光関連施設等					
基本事業コード	532-01			目的 (どうしたいのか)	交流人口の増加を図る。					
第 6 次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	3	観光振興・都市間交流				観光案内所来訪者数(累計)	人	5,000	17,567	55,000
施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり								
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

事務事業名	道の駅しらとりの郷・羽曳野管理事務事業		事務事業コード	532-01-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	施設	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	道の駅しらとりの郷・羽曳野	R2 道の駅しらとりの郷・羽曳野
	目的 (どうしたいのか)	安全で快適に施設を利用できるように保つ。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	環境整備(ごみ拾い、草刈、樹木管理、交通誘導、施設修繕等)、 アジサイ・サクラ・園路のライトアップ、誘導員による駐車場整備、 周辺道路の渋滞緩和につながる交通誘導対策(警備員の配置)	妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 52,115	R1年度(当初)予算額 50,040
				単位:千円 (36,463)	(34,278)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	道の駅しらとりの郷・羽曳野運営事務事業		事務事業コード	532-01-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	来場者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	道の駅しらとりの郷・羽曳野	R2 道の駅しらとりの郷・羽曳野
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市の魅力を感じる施設づくりを目指すとともに、快適に利用できる施設整備を進める。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	・アジサイやサクラに特化した名所づくりを通して来場者増加を狙う ・BBQ広場運営 ・Wi-Fiの利用(BBQ広場周辺) ・電気自動車急速充電器利用対象者の拡大 ・広告事業	妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 3,625	R1年度(当初)予算額 3,742
				単位:千円 (662)	(1,680)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	観光案内所管理事務事業		事務事業コード	532-01-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市来訪者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	観光課	R2 観光課
	目的 (どうしたいのか)	観光・周遊しやすくしていく。	総合評価・ 今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	羽曳野市の公共交通機関の玄関口である近鉄南大阪線古市駅の東広場に、平成24年6月観光案内所を開設。観光に関する各種パンフレットの配布や多言語対応のデジタルサイネージなどにより、市の観光施設や特産品などの情報提供を行う。また、各種情報を提供することにより市のさまざまな魅力をPRし、周遊ルート案内などを行う。	妥当性	A	B
			効率性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 7,548	R1年度(当初)予算額 6,857
				単位:千円 (7,457)	(6,857)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	観光無線LAN構築事業		事務事業コード	532-01-04	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市来訪者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市を訪れた方が、市の観光情報を入手するとともに、市の情報をSNSなどを利用して発信し市の魅力を上げてもらうことにより、いろいろな角度から市の魅力をPRできるようにする。	総合評価・ 今後の方向性		
	手段 (事業内容)	駒ヶ谷駅西側公園及び道の駅しらとりの郷・羽曳野において、Osaka Free Wi-Fiの整備を行った。また、古市駅前東広場の観光案内所及び、道の駅の一部で使用していたWi-Fi機器の変更整備を行なった。	妥当性		
			効率性		
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				R2年度 実施の 方向性	

事務事業名	観光農園等管理事務事業		事務事業コード	532-01-05	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	来訪者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	観光課	R2 観光課
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市において栽培可能と思われる果樹を植え付け、産業振興に寄与する種類や品種を選定し、観光資源の発掘や地域の活性化等につながる事業を展開する。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	かんきつ類、モモ、ナシ、カキなど多種異品種を栽培管理。樹木の成長に伴い収穫できた果実の1部について、市立の幼稚園や保育園の園児に収穫体験を実施。	妥当性	B	B
			効率性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 14,704	R1年度(当初)予算額 19,102
				単位:千円 (14,704)	(19,102)
				R2年度 実施の 方向性	実施

事務事業名	育苗施設管理事務事業		事務事業コード	532-01-06	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	観光課	R2 観光課
	目的 (どうしたいのか)	事業着手されていない公共用地の活用推進事業において、暫定的にビニールハウスを設置し花苗等の栽培を行ない緑化推進を図る。また、駒ヶ谷駅西側公園や観光農園と合わせて一体的な観光振興にかかる施設として活用する。	総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段 (事業内容)	駒ヶ谷駅西側公園や道の駅等を修景する花苗の生産・育成。ビニールハウス内に数種類のブドウを育成し、観光農園事業として取り組む。	妥当性	B	B
			効率性	A	A
			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 2,386	R1年度(当初)予算額 5,491
				単位:千円 (2,386)	(5,491)
				R2年度 実施の 方向性	実施

基本事業名	来訪者対応施設の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	観光関連施設等			
基本事業コード	532-01			目的 (どうしたいのか)	交流人口の増加を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	3	観光振興・都市間交流						
施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり						
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
			観光案内所来訪者数(累計)	人	5,000	17,567	55,000	

7	事務事業名	駒ヶ谷駅西側公園管理事務事業		事務事業コード	532-01-07				
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	観光課	R2	観光課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	来園者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
	目的 (どうしたいのか)	駒ヶ谷地区の活性化に寄与する拠点としての施設・機能の充実とともに、地域情報の発信基地としての役割構築および、地域のにぎわいを創出する公園づくりを目指す。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段 (事業内容)	子ども遊具(つづたん遊具等)や顔出しパネル、シェルター(日除け)、ベンチ等の公園施設および駐車場の維持管理。はびきのタペなどイベント会場として活用。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	3,778	R1年度(当初)予算額	4,702	R2年度 実施の 方向性
				単位:千円	(2,814)	(3,803)			

8	事務事業名	道の駅しらとりの郷・羽曳野大型遊具更新事業		事務事業コード	532-01-08					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	道の駅しらとりの郷・羽曳野	R2	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	来場者(幼児～小学生)	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	道の駅オープン以来使用した木製遊具が、腐朽により安全に使用することができなくなったため、遊具をリニューアルし、BBQ広場や芝生広場などと併せて家族交流および地域活動の場として活発に利用され、賑わいのあるふれあいの場を提供する。		総合評価・ 今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	安全で安心して遊ぶことができる複合遊具を整備し、幅広い年齢層の子どもたちが利用できる空間を創出する。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	19,270	R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性	-
				単位:千円	(10,370)					

9	事務事業名	観光案内所再整備事業		事務事業コード	532-01-09					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	観光課	R2	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市来訪者	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	世界文化遺産登録を目指す古市古墳群を有する羽曳野市への玄関口である古市駅の東広場にあり、日本遺産にも認定された竹内街道沿いに位置する観光案内所において、国内外から訪れる旅人を温かく迎える。		総合評価・ 今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	古市駅東広場の景観に適した改装とインフォメーション施設として、観光客が認識しやすく、また気軽に立ち寄れる空間として再整備を行う。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	9,307	R1年度(当初)予算額		R2年度 実施の 方向性	-
				単位:千円	(907)					

基本事業名	来訪者対応体制の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	来訪者				
基本事業コード	532-02			目的 (どうしたいのか)	きめ細やかな観光サービスを提供する。				
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち							
施策	3	観光振興・都市間交流							
施策の方向	2	観光振興を推進する仕組みづくり							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	観光協会運営事務事業		事務事業コード	532-02-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	全ての羽曳野市民及び観光客	観光課	R2	観光課
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市の観光事業の振興をはかると共に羽曳野市の地域経済の振興及び文化の発展に寄与する。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	観光協会ホームページの運用農特産物及び友好都市特産物販売・振興事業はびきの「軽トラ市」事業への参加	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性
			改善して継続	B	有効性
					効率性
					B
					B
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				13,604	8,727
			単位:千円	(13,604)	(8,727)
					R2年度 実施の 方向性
					実施

事務事業名	ガーデン倶楽部運営事務事業		事務事業コード	532-02-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	C	やや遅れている	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民	観光課	R2	観光課
	目的(どうしたいのか)	駒ヶ谷駅西側公園及び関連施設が、地域のふれあい交流拠点として、より魅力を持ち地域の親しまれる空間となるよう、住民ボランティアにより植物の育成、管理や環境美化に取り組み、住民の観光意識を高めるとともに人的交流を推進する。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	公募により参加者を募り、有償にて活動。駒ヶ谷駅西側公園・観光農園・育苗施設・駒ヶ谷駅駐車場・古市花ふれあい交流広場及び道の駅しらとりの郷羽曳野において、播種作業(種まき)や育成、花壇植付け、除草及び灌水作業等の景観づくりを行う。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性
			改善して継続	B	有効性
					効率性
					B
					A
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				1,707	2,279
			単位:千円	(1,707)	(2,279)
					R2年度 実施の 方向性
					実施

事務事業名	観光ボランティアガイド育成事務事業		事務事業コード	532-02-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民等(市外居住者を含む)	観光課	R2	観光課
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市の歴史と文化に関心を持ち、観光客などへの観光ガイドを主とするボランティア活動への意欲を有し、観光ボランティアガイド活動に積極的に参加する市民等(市外居住者を含む)の養成をする。	R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	ガイドになるための座学や現地学習の体験を通して、羽曳野市の歴史や文化に理解と愛着を深めてもらい、羽曳野市の魅力をたくさんの方に伝えていただく。(ガイド養成講座等の開催)	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性
			改善して継続	B	有効性
					効率性
					B
					B
			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額
				983	1,438
			単位:千円	(983)	(1,438)
					R2年度 実施の 方向性
					実施

基本事業名	都市間交流活動の促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民				
基本事業コード	533-01			目的 (どうしたいのか)	国内外の都市との市民交流を深める。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)	
施策	3	観光振興・都市間交流							
施策の方向	3	都市間交流の充実							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	都市間交流事業			事務事業コード	533-01-01							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	市民協働ふれあい課	R2	市民協働ふれあい課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	三市(三重県亀山市・奈良県御所市・大阪府羽曳野市)の市民					R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	三市で市民交流を図る。					総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	日本書紀の日本武尊・白鳥伝説を縁として、三重県亀山市・奈良県御所市・本市の三市持ち回りで、2年に一度、様々な分野で市民交流を実施する他、広報のやり取りを行う。					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
						1,358	607		A	B			
						単位:千円	(1,358)	(607)					

2	事務事業名	国際交流事業			事務事業コード	533-01-02							
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	市民協働ふれあい課	R2	市民協働ふれあい課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民					R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
		目的 (どうしたいのか)	友好都市交流を通じて、国外における多くの人々と交流を図る。					総合評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	友好都市(オーストリア共和国ウィーン市13区ヒーツィング)との交流。現在の交流の取り組みは、周年記念事業の取り組みを主とし、毎年クリスマスカードや年賀状の交換による交流を行っている。 また、大韓民国忠清南道論山市とは親善交流を行っている。					総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	実施	
						2,201	2,263		B	A			
						単位:千円	(2,201)	(2,263)					

基本事業名	戦略的なプロモーションの展開		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民以外			
基本事業コード	542-01			目的 (どうしたいのか)	「選ばれるまち」をめざす。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	4	シティプロモーション						
施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	観光プロモート戦略事業		事務事業コード	542-01-01				
	<small>最終的に基づく 事業の進捗状況</small> R1年度		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市来訪者		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	国や府の動向、市民の来訪者のニーズを見極めながら、平成29年から平成33年までの5年間で、交流人口の増加と地域経済の持続的な発展の構築を図る。			総合評価・今後の方向性	各視点からの評価		妥当性	有効性
手段(事業内容)	「観光振興に係る進捗状況と新たな魅力資源の把握」「羽曳野市を取り巻く環境の変化の整理」「インバウンドの動きをつかみ分析」「先進事例調査」「市の観光を目指す形を表すブランドメッセージ、ロゴマークやプロモーション映像の作成」			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R1年度実績	R2年度目標	
				単位:千円					

2	事務事業名	インバウンド観光戦略事業		事務事業コード	542-01-02				
	<small>最終的に基づく 事業の進捗状況</small> R1年度		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	R1	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	外国人観光客		R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	近年加速している外国人観光客のニーズを見極めながら、平成29年から平成33年までの5年間で、交流人口の増加と地域経済の持続的な発展が構築できるように、「HABIKINO Inbound戦略」を策定する。			総合評価・今後の方向性	各視点からの評価		妥当性	有効性
手段(事業内容)	外国人観光客の動向と新たな魅力資源について把握するとともに、国外のアウトバウンド市場のマーケティングなどを行い、はびきの独自の魅力とInbound需要をマッチングさせる戦略を検討する。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R1年度実績	R2年度目標	
				単位:千円					

基本事業名	市への愛着の醸成		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民						
基本事業コード	542-02			目的 (どうしたいのか)	「愛されるまち」をめざす。						
第6次羽曳野市総合基本計画											
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)			
施策	4	シティプロモーション				今後も羽曳野市に住み続けたい、と考える市民の割合	%	68.3	不明	75	
施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信									
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									

1	事務事業名	ご当地キャラクター活用事業			事務事業コード	542-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	観光課	R2	観光課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民等			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	地域の特産品、観光地、イベントなどをPRする目的で、活発に活動を行い、地元愛を持って元気や笑顔溢れる地元活性化を達成する。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	市主催のイベントや地域の催しなどへの参加、啓発ポスター等での画像使用など、地域のPR・活性化に貢献する。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		A	
				単位:千円	(408)	(635)			A			

2	事務事業名	市制60周年記念事業			事務事業コード	542-02-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)			継続・ 新規	終了	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	政策推進課	R2		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市民			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	シブクプライドを高める。			総合評価・ 今後の方向性	完了	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	歴史・伝統文化・産業など市の魅力を再認識できる事業を実施する。本市の市制施行60周年を市内外へ発信し、市の認知度を高める。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		B	
				単位:千円	(24,213)	(24,213)			B			

基本事業名	市の魅力の発信		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び来訪者等					
基本事業コード	542-03			目的 (どうしたいのか)	市への愛着の醸成とともに、交流人口・活動人口の増加を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値 (総計)	H30年度 実績	R2年度 目標 (総計)		
施策	4	シティプロモーション				ふるさと応援寄附の件数	件	61	931	350
施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信								
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

事務事業名	まちの魅力発信事業		事務事業コード	542-03-01	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域のブランド力を	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	総合的に高め、「人」「もの」「情報」が活発に行き交い、持続的に発展する元気で魅力のある都市を創るため	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	広く認知させる様々な媒体 (発行物、ウェブサイト、SNS、メディア、動画投稿など) を活用し、市の魅力や特色を市内外及び国内外へ発信する。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 1,890	R1年度 (当初) 予算額 3,316
			単位: 千円	(1,890)	(3,316)
					R2年度実施の方向性 実施

事務事業名	ポータルサイト構築事業		事務事業コード	542-03-02	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	地域のブランド力を	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	総合的に高め、「人」「もの」「情報」が活発に行き交い、持続的に発展する元気で魅力のある都市を創るため	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	市ウェブサイトの再構築およびCMS (ホームページ作成支援システム) の更改ならびに定住促進に特化したページを立ち上げる等、一元的な情報発信を行うとともにサイト閲覧者のアクセス解析等を行い、効果的な施策の推進に向けたポータルサイトの構築を目指した。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度 (当初) 予算額
			単位: 千円		
					R2年度実施の方向性

事務事業名	ふるさと納税事務事業		事務事業コード	542-03-03	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	「羽曳野市を応援したい」など、市に関心のある方	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市に関心のある方からの寄附に対し、市の特産品を謝礼品として送付することにより、市のPR及び地域の活性化・市内事業者の活性化を図る。また、寄附金の活用により市施策の充実を図る。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	ふるさと納税に精通した事業者に業務委託することにより、寄附金の受領や地元事業者との調整・謝礼品の発送などの一連の作業をスムーズに行う。また、市のホームページやふるさと納税専用サイトの活用などにより、ふるさと納税に関する情報を定期的に発信・提供する。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 12,551	R1年度 (当初) 予算額 14,423
			単位: 千円	(12,434)	(14,423)
					R2年度実施の方向性 実施

事務事業名	シネマプロジェクト事業		事務事業コード	542-03-04	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び来訪者等	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野市・藤井寺市・太子町の3市町間の住民交流と地域の観光振興を図る。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	映画『あしたになれば。』を活用して、地域の魅力を内外に発信するため、「わたしの初恋ドーナツコンテスト」や「芸術鑑賞会」を開催する。また映画関連イベント等において出展を行う。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度 (当初) 予算額
			単位: 千円		
					R2年度実施の方向性

事務事業名	移住定住促進事業		事務事業コード	542-03-05	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民および来訪者等	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	定住化ならびに地域経済の活性化を促進する。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	市内の魅力・特徴・個性を最大限に活かしながら、市内外に発信・支援する。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度 (当初) 予算額
			単位: 千円		
					R2年度実施の方向性

事務事業名	ワインプロジェクト事業		事務事業コード	542-03-06	
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		継続・新規	法定・自治	自治事務 (任意のもの)	担当 R1
事務事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び市外の方	R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業	
	目的 (どうしたいのか)	羽曳野の代表的な地域資源であるワイン (ぶどう) を希少価値の高い貴重なワインとしてのブランド力を強化し、市内・市外にPRすることで、賑わいの創出と地域の活性化を推進する。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価	妥当性 有効性 効率性
	手段 (事業内容)	①市制60周年記念事業の一環として、市内3者のファイナリーがつくるワイン各1本と限定ペアグラスのセットを制作し、ふるさと応援寄附金の返礼品とした。 ②近畿日本鉄道橿古市営業所と連携した一日限定のイベントとして、「ワイン列車」をはびきのタペと同日に特別運行させた。 ③「はびきのタペ」において、記念ワインのお披露目、先行販売等を実施するとともに、日本ソムリエ協会名誉会長の岡昌治氏による紹介イベントを実施した。	総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額 6,773	R1年度 (当初) 予算額
			単位: 千円	(6,773)	
					R2年度実施の方向性

基本事業名	市の魅力の発信		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民及び来訪者等					
基本事業コード	542-03			目的 (どうしたいのか)	市への愛着の醸成とともに、交流人口・活動人口の増加を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち		ふるさと応援寄附の件数	件	61	931	350		
施策	4	シティプロモーション								
施策の方向	2	まちの魅力の戦略的・効果的な発信								
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

7	事務事業名	(仮称)はびきの観光・移住創造かんばにー設立準備事務事業			事務事業コード	542-03-07					
	総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)	C	やや遅れている	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	政策推進課	R2	政策推進課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	(仮称)はびきの観光・移住創造かんばにー			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	交流人口の増加による賑わいと雇用の創出とともに、定住意識の向上と移住の促進を目的とする羽曳野版DMOの設立を目指す。			総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価		妥当性	有効性
	手段(事業内容)	観光・移住戦略の策定、地域食ブランドの創出、着地型旅行商品の造成等、様々なソフト事業を展開しながら、設立準備委員会を立ち上げ、円滑なDMOの設立に向けて必要な調整を実施する。			総事業費(うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度実施の方向性		実施	
					単位:千円	(24,172)	(41,397)				
						(12,742)	(26,397)				

基本事業名	雇用機会の拡大		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就職困難者等					
基本事業コード	551-01			目的 (どうしたいのか)	地域社会の活性化を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)		
施策	5	労働環境				就労相談者の就職率	%	9.0	8.0	15.0
施策の方向	1	雇用対策の推進								
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり								
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり	就職支援・雇用支援の講座等実施回数	回	5	5	8			

事務事業名		労働関連団体助成事業		事務事業コード		551-01-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	労働関連団体		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	労働者の福祉の充実、雇用の安定及び確保		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	市内の3つの労働団体に助成金を交付し、労働者の福利厚生に寄与する活動などに対して、支援を行う。また、一般財団法人に負担金を支出し、就労支援などを行う。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	B	B	A	
				単位:千円		(2,375)	(2,376)				

事務事業名		地域就労支援事業		事務事業コード		551-01-02					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	就職困難者(働く意欲がありながらさまざまな問題を抱えていることで就労ができない方)		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	地域就労支援コーディネーターや専門の相談員が相談対応等を行い、他の関係機関と連携しながら就労の実現を目指す。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	地域就労支援センターに、就労支援コーディネーターを配置し、関係機関と連携をとりながら就労支援を行う。また、市役所内に労働コーナーを設け、検索できるパソコンを設置し、気軽に就職情報を収集できるようにしている。また、地域就労支援障害者雇用相談として、南河内北 障害者就業・生活支援センター職員による市役所での出張相談を実施している。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	B	B	A	
				単位:千円		(4,721)	(4,672)				

事務事業名		障害者雇用フォーラム開催事業		事務事業コード		551-01-03					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	主に事業主や人事労務担当者		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	障害者雇用への理解と雇用促進		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	羽曳野市、松原市、藤井寺市、南河内北障害者就業・生活支援センターはると共同開催。 障害者雇用に関するノウハウや雇用上の工夫等の情報提供を行う。		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	B	B	A	
				単位:千円		(1,219)	(379)				

事務事業名		地域ごと支援事業		事務事業コード		551-01-04					
総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	主に羽曳野市在住の若者及び女性の求職者		R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業					
	目的 (どうしたいのか)	人材の育成・定着を目指す		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性		
	手段 (事業内容)	雇用・就労につながる能力の向上を図る講習会や研修会を開催し、ハローワーク等の関係機関とも連携し、就労支援も同時に実施		総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性	A	B	A	
				単位:千円		(3,122)	(3,925)				

基本事業名	労働環境の改善		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	勤労者			
基本事業コード	551-02			目的 (どうしたいのか)	安心して就業できる環境を確保する。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)
施策	5	労働環境						
施策の方向	1	雇用対策の推進						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	企業人権連絡会事務事業			事務事業コード	551-02-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内の公正採用選考人権啓発推進員を設置する企業および連絡会の目的に賛同する企業			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	企業の立場から啓発の充実と就職の機会均等を図るなど、羽曳野市における人権尊重社会の実現に資する。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	企業内の人権啓発推進に関する講座やセミナーの開催及び案内を行っている			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施
				単位:千円	(1,890)	(1,897)					

2	事務事業名	中小企業労働環境向上事業			事務事業コード	551-02-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (R1年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	事業主、人事労務担当者、その他関心のある方			R1年度 事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果	二次評価対象事業				
		目的 (どうしたいのか)	労働トラブルの未然防止を図り、働きやすい労働環境の整備の促進			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	羽曳野市、松原市、藤井寺市、大阪府で共同開催。労働法の基礎知識等を周知・啓発する講座を実施。			総事業費 (うち市負担額)	H30年度決算額	R1年度(当初)予算額	R2年度 実施の 方向性		実施
				単位:千円	(756)	(379)					

基本事業名		勤労者福祉の充実		基本事業の概要	市内の勤労者												
基本事業コード	552-01				福利厚生の実施により、労働意欲の向上を図る。												
第6次羽曳野市総合基本計画																	
施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち			総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	H30年度 実績	R2年度 目標(総計)							
施策	5	労働環境															
施策の方向	2	勤労者福祉の充実															
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり															
事務事業名		中小企業勤労者福利厚生支援事業			事務事業コード		552-01-01										
総計に基づく事業の進捗状況 (R1年度)		B	概ね順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 R1	産業振興課	R2	産業振興課					
1	事務事業の概要		対象(誰を・何を)			市内在住、在勤の勤労者			R1年度事務事業評価 (H30年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業					
			目的(どうしたいのか)			中小企業に勤務する労働者の福祉の増進並びに労働意欲の向上に寄与することを目的とする。			総合評価・今後の方向性		現況維持		各視点からの評価				
			手段(事業内容)			市内労働者の福祉の増進及び労働意欲の向上を促すため、勤労者互助会の支援を行う。			総事業費(うち市負担額)		H30年度決算額		R1年度(当初)予算額				
								単位:千円		(5,560)		(5,608)		R2年度実施の方向性		実施	